



基本のポイント

精神障害という以前に、みんな一人ひとり個性をもった人間です。
ここにある事例はあくまで一例で、「この方法で万事うまくいく！」というものではありません。

ただ、どんな課題であっても、基本となるポイントがあります。
まずは次の3つの基本を大切にしながら、それぞれの職場に応じた対応を行いましょう。

1 職場のみんなで精神障害への理解を深めよう

「精神障害はむずかしい」「わからない」「気をつかいそう」などと、不安に思う方もいるかもしれません。まずは精神障害について理解をしてもらうことから始めましょう。

※シリーズ「精神障害者と共に働くための知ってこガイドブック」もご活用ください。

▶<http://www.pref.kyoto.jp/jobpark/h-guide2.html>

精神障害



2 服薬ができているか気にかけてよう

「最近ちょっと体調が悪そう」「妙にテンションが高いみたい」。そう感じたとき、薬の飲み忘れの可能性があります。きちんと服薬することが大切なので、服薬の忘れがないか、確認できる方法をつくっておきましょう。また、「薬を飲まなくても元気そう」など本人が服薬を止めてしまうような声かけは避けましょう。



※服薬の必要のない方もおられます。

3 関係者に相談しよう

いつもと様子が違うと感じたら、早めに主治医や家族、支援機関(注)などに連絡しましょう。業務の変更や上司の異動、配置転換などを行う場合も同様に連絡しましょう。

※採用時等事前に、関係者に相談することについて本人の承諾を得ておきましょう。



(注)「支援機関」とは、本人が就労に向けて支援を受けた機関です。

- ・障害者就業・生活支援センター (P36)
- ・京都障害者職業センター (P34)
- ・京都ジョブパーク (P34) など